

修士論文（要旨）  
2026 年 1 月

中国都市部高齢者の養老施設の入所意向と影響要因に関する研究  
—河南省新郷市都市部を例として—

指導 中谷 陽明 教授

国際学研究科  
国際学専攻  
老年学学位プログラム  
224J5004  
陳 煜仁

Master's Thesis(Abstract)  
January2026

Willingness of Urban Older Adults in China to Enter Residential Aged Care Facilities and  
Associated Factors: Evidence from Urban XinXiang, Henan Province

YUREN CHEN

224J5004

Master of Arts Program in Gerontology

Master's Program in International Studies

International Graduate School of Advanced Studies

J. F. Oberlin University

Thesis Supervisor: Yomei Nakatani

## 目次

|                                        |    |
|----------------------------------------|----|
| 1. 研究背景と意義.....                        | 1  |
| 2. 先行研究.....                           | 3  |
| 2.1 中国養老の定義.....                       | 3  |
| 2.1.1 家庭養老.....                        | 3  |
| 2.1.2 コミュニティ養老（社区养老）.....              | 4  |
| 2.1.3 養老施設.....                        | 4  |
| 2.2 各地の概況.....                         | 5  |
| 2.3 河南省新郷地域養老施設の現状.....                | 6  |
| 2.3.1 新郷市の概況.....                      | 6  |
| 2.3.2 新郷市養老施設の概況.....                  | 6  |
| 2.4 高齢者の養老施設入所意向に影響を与える要因.....         | 7  |
| 2.4.1 個人の基本属性に関する要因.....               | 7  |
| 2.4.2 家庭状況に関する要因.....                  | 8  |
| 2.4.3 生活満足度に関する要因.....                 | 8  |
| 2.4.4 養老観に関する要因.....                   | 9  |
| 2.4.5 研究の特徴.....                       | 9  |
| 3. 研究目的.....                           | 10 |
| 4. 研究方法.....                           | 11 |
| 4.1 調査対象.....                          | 11 |
| 4.2 調査方法.....                          | 11 |
| 4.3 調査項目.....                          | 12 |
| 4.3.1 従属変数.....                        | 12 |
| 4.3.2 個人属性.....                        | 12 |
| 4.3.3 健康状態.....                        | 12 |
| 4.4.4 生活満足度.....                       | 12 |
| 4.4.5 養老観念.....                        | 12 |
| 4.4.6 家庭内世代間支援.....                    | 12 |
| 4.4.7 倫理的配慮.....                       | 13 |
| 5. 結果分析.....                           | 14 |
| 5.1 統計方法.....                          | 14 |
| 5.1.1 記述分析.....                        | 14 |
| 5.1.2 カイ二乗検定による分析.....                 | 14 |
| 5.1.3 Logistic 回帰分析.....               | 14 |
| 5.2 人口学的特性と養老施設入所意向の現状.....            | 14 |
| 5.3 社会人口学的情報と高齢者の入所意向との関連性の分析.....     | 15 |
| 5.4 個人の健康要因と高齢者の入所意向との関連性.....         | 16 |
| 5.4.1 個人の健康自己評価の影響.....                | 16 |
| 5.4.2 個人の健康の影響.....                    | 17 |
| 5.4.2.1 新郷市都市部高齢者の健康状況の分析.....         | 17 |
| 5.4.2.2 高齢者の健康状況と入所意向との関連性の分析.....     | 17 |
| 5.5 生活満足度・主観的幸福感と入所意向との関連性.....        | 18 |
| 5.5.1 新郷市都市部高齢者の生活満足度・主観的幸福感の状況分析..... | 18 |

|                                     |    |
|-------------------------------------|----|
| 5.5.2 生活満足度・主観的幸福感と入所意向との関連性分析..... | 18 |
| 5.6 老年者の養老観と入所意向との関連性.....          | 19 |
| 5.6.1 老年者の養老観の状況分析.....             | 19 |
| 5.6.2 養老観と入所意向との関連性分析.....          | 19 |
| 5.7 新郷市都市部高齢者の世代関係と入所意向の関連性.....    | 21 |
| 5.7.1 新郷市都市部高齢者の世代関係の状況分析.....      | 21 |
| 5.7.2 世代関係の関連性分析.....               | 21 |
| 5.8 多変数の回帰分析.....                   | 22 |
| 5.8.1 有意性を示した独立変数の回帰分析.....         | 22 |
| 5.8.2 全変数の回帰分析.....                 | 22 |
| 6. 考察.....                          | 26 |
| 6.1 養老施設入所意向の現状.....                | 26 |
| 6.2 養老施設入所意向に影響を及ぼす要因の分析.....       | 26 |
| 6.2.1 人口学的要因の影響.....                | 26 |
| 6.2.2 健康要因の影響.....                  | 27 |
| 6.2.3 生活満足度・主観的幸福感の影響.....          | 28 |
| 6.2.4 養老観の影響.....                   | 28 |
| 6.2.5 世代依存状況の影響.....                | 30 |
| 6.3 提言.....                         | 31 |
| 6.3.1 供給拡大より理念的啓発の重視.....           | 31 |
| 6.3.2 情報取得経路の公開性・透明性・多様化.....       | 31 |
| 6.3.3 家庭養老の尊重し・対立構造の緩和.....         | 32 |
| 6.4 本研究の限界.....                     | 32 |
| 7. 総括と展望.....                       | 34 |
| 参考文献                                |    |
| 資料：調査表                              |    |
| 謝辞                                  |    |

## 1. 研究背景と意義

中国は、急速かつ深刻な人口高齢化の進行過程にある。第七回全国人口普查によれば、60歳以上人口は2億6,402万人に達し、総人口の18.70%を占めた。2010年の第六回全国人口普查と比較して、その比率は顕著に上昇している。社会・人口構造の変化に対応するため、中国政府は「在宅を基礎、社区を拠り所、養老施設を支え」とする多層的な養老サービス体系を提唱している。学術研究および地方政府実践では、養老資源配分の望ましい構造を「9073/9064」枠組みによって要約することが多い。現実には養老施設への実際の入所割合が長期にわたり低水準にとどまっている。全国統計によれば、養老施設に実際に入所している高齢者の割合は約0.73%であり、全国のベッド利用率は約39.3%である。「施設ベッド数の拡張」と「入所需要の不足」が併存する矛盾した状況が示されている。

この背景の下で、養老サービス体系における需給マッチングと資源利用効率に関わるだけでなく、政策設計および施設サービス改善の方向性にも直接的な示唆を与える。地域差が顕著な中国においては、一線都市や沿海地域を対象とした研究の知見のみでは、中部省份や一般都市における養老選択の論理を十分に説明しがたい。そこで本研究は、河南省新郷市における都市戸籍高齢者を対象として実証分析を行う。河南省の2020年データによれば、高齢人口規模は大きく（約1,722万人、全省人口の約17.53%）、養老施設のベッド利用率は約41.9%である一方、実際の入所割合は約0.72%にとどまる。同省は「利用率が高くない-入所割合が低い」という構造的特徴を示しており、「入所意向-現実の選択」の乖離を検討するうえで典型的な観察場域となりうる。

## 2. 先行研究の整理

先行研究では、都市部高齢者の養老施設への入所意向は、多次元的要因の複合作用によって規定されるとする見解が一般的である。関連要因は概ね四領域に整理できる。すなわち、①個人の基本属性、②家族状況、③生活満足度／主観的幸福感、④価値観および養老観である。

個人属性に関して、学歴、収入、年齢などの変数は一定の方向性を示す研究がある一方、結論は必ずしも一貫していない。総じて、高学歴および良好な経済条件は養老施設養老の受容度の高さと関連する傾向がみられる。年齢や健康状態の影響については、研究対象や地域、制度環境等の文脈により差異が生じうる。家族状況に関して、子どもの支援能力、同居形態、子どもの人数、性別構成（娘の有無など）、世代間相互作用の質は、「ケアの入手可能性」「情緒的愛着」「社会的評価」といった作用機序を介して入所意向に影響しうる。生活満足度および主観的幸福感に関して、既往研究は生活満足度と養老方式の選択との関連を指摘している。生活満足度は健康、収入、社会支持、親子相互作用など複数要因の影響を受け、一定条件下では入所意向と負の関連を示す可能性がある。養老観念および社会文化に関して、「孝」や「養兒防老」といった伝統的価値観は、養老施設養老に対する受容度を低下させる要因となりうる。「入所＝不孝／死を待つこと」といったスティグマ化された認知、施設サービスの質や適応可能性に対する懸念は心理的抵抗を強化する。

### 3. 研究目的

本研究では、中国河南省新郷市都市部 65 歳以上高齢者を対象に、個人属性、健康状態、生活満足度・幸福感、家族関係・世代間支援、養老観という 5 つの変数を中心に調査項目を設定し、それぞれの要因が養老施設入所意向に与える影響について体系的に分析することを目的とする。これにより、養老サービス政策の最適化に向けた実証的な知見を提供することを目指す。

### 4. 研究方法

質問紙調査を通じてデータを収集する。対象者の抽出には機縁法を用い、研究担当者の人的ネットワークを活用して協力を得た上で、181 名の有効回答を回収した。本研究は桜美林大学研究活動倫理委員会から承認を得た（承認番号 25022）。データを抽出した後、SPSS 27.0 を用いて基本的なデータクリーニングおよび整理を行い、統計分析を実施する。カイ二乗検定と Logistic 回帰分析を行い。

### 5. 結果

本研究の有効サンプルは  $N=181$  である。回答者のうち、「養老施設への入所を希望する」は 55.2%（100 人）、「希望しない」は 44.8%（81 人）であった。カイ二乗検定の結果、社会人口学的要因のうち、学歴と居住状況（家族同居構造）は入所意向と統計学的関連を示した。一方、年齢、性別、婚姻状況などは入所意向との有意な関連が認められなかった。

回帰分析の結果について、主観的幸福感について、生活幸福関連モデルでは、幸福感が高いほど入所意向が高い傾向が確認された。養老観について、養老施設に対する印象が悪いこと、施設情報を積極的に把握しようとしなないことはいずれも入所意向と負の関連を示した。この結果は、複数の回帰分析モデルでは有意性を示した。「否定的認知／情報取得意欲の低さ」が入所意向を抑制する主要因である可能性を示した。家族の世代間支持について、子どもからの生活支援度が高いほど入所意向は低い傾向が複数の回帰分析モデルでは有意性を示した。家族支持が一定程度、養老施設養老の需要を代替しうること、家族養老の継続可能性および情緒的正当性を高めることが関与している可能性がある。

全ての属性を同時に投入した最終多変量 Logistic モデルでは、生活満足度は前のモデルでは有意ではなかったが、最終モデルでは入所意向と有意な負の関連を示した。世代依存型の養老観は単変量モデルおよび一部の統制モデルで有意であった一方、「各領域で有意であった属性のみを投入した」モデルでは有意性が失われ、最終「全属性モデル」再び有意となった。

## 6. 考察

本研究の調査結果、入所意向率（55.2%）は、一部地域の既往調査水準を上回った。この結果で、新郷市都市部の高齢者において養老施設養老に対する態度が明確に緩和している可能性を示した。家族構造の小規模化、子どもの就業負担、介護時間の不足といった現実的制約の下で、伝統的な家族養老価値が依然として強い状況にあっても、高齢者が養老方式の組み合わせを実行可能性の観点からより理性的に評価していることを反映していると解釈できる。

回帰分析の結果、本研究において入所意向に影響する中核要因は「健康上の必要」に限定されることが示された。健康要因は既往研究で強い有意性が報告されてきたが、本研究では、影響はむしろ「養老施設に対する印象」「情報取得意欲」といった認知・情報関連変数、ならびに「子どもからの支持」という家族による代替資源に集中していた。これに基づき、現時点における養老施設養老の主要な障壁の一つは、施設サービスの質、制度的保障、生活適応に関する「不確実性」および「否定的イメージ」であると推論できる。高齢者が入手可能で理解しやすく、信頼できる情報経路を欠く場合、伝統的価値観やスティグマ化された語りが優位となり、入所意向が抑制されやすい。情報の透明性が高まり、体験機会が増加し、肯定的事例が可視化される条件では、入所意向が顕在化しやすいと考えられる。生活満足度が最終モデルにおいて入所意向と負の関連を示した。生活満足度は現行の生活配置に対する総合的肯定に近く、満足度が高いほど現状維持（在宅／家族養老の継続）を選好する可能性が示唆される。この差異は、

本研究は「9073」養老構造と現実の需給ミスマッチという矛盾状況に立脚し、新郷市都市部高齢者の入所意向の形成機序を検証した。その結果、「施設イメージ—情報取得意欲—家族支持—主観的福祉—養老観念」が入所意向に影響する主要因として識別された。入所意向と現実の選択との間には、経済条件、家族条件、サービス供給条件といった制約がなお存在する。今後は、政策的誘導と多主体の協働を通じて、「希望はあるが選択しにくい」状況、ならびに「情報・信頼の不足により希望が形成されにくい」状況という構造的課題を段階的に改善していく必要がある。

## 参考文献

- [1] 寧吉喆『第七次全国人口普查主要数据情况』中国统计, 2021, 5: 4-5.
- [2] 瞿凌云『未来人口老龄化趋势及其对潜在经济增速影响的估算』上海金融, 2021, 8: 27-36.
- [3] 衣艳芳・孟庆民『我国独生子女家庭养老问题探讨』長白学刊, 2012, 2: 126-130.
- [4] 中国国务院『中国老龄事业發展「第十二次五カ年計画」の通知』(国発, 2011, NO.28)
- [5] 喬曉春『全国においてどれほどの人が養老機関に入所しているか』社会政策研究, 2022, 4: 40-57.
- [6] 中国民政部『中国民政統計年鑑 2021』中国社会出版社, 2021.
- [7] 中国社会工作連合会養老サービス業専門委員会『2024 年我国養老服務業發展データ報告』, 2024-10-17.
- [8] 21 世紀經濟報道・ZAKER『養老施設料金状況観察』, 2020-12-28.
- [9] 楊方方『中国における非営利組織のコミュニティ養老サービス参画に関する研究』長春工業大学, 2018.
- [10] 中国民政部『養老機構管理弁法』, 2020-9-19.
- [11] 吳 玉韶, 王 莉莉, 孔 偉『中国における養老施設の發展に関する研究』老齡科学研究, 2015, 8: 13-24.
- [12] 張文娟・魏蒙『都市高齢者の養老施設入所意向と影響要因研究—北京市西城区を例として』人口と經濟, 2014, 6:22-34
- [13] 羅夢雲・梁会剛・董媛媛『641 名の上海市高齢者における養老施設入所意向およびその影響要因』上海交通大学学報 (医学版), 2017, 37(5)
- [14] 張瑞玲『都市高齢者の養老施設入所意向に関する研究—河南省 12 都市の調査に基づいて』調研世界, 2015, 12: 13-17
- [15] 中国河南省新郷市統計局『新郷市統計年鑑 2024』, 2024.
- [16] 中国河南省新郷市『「第 14 次五カ年計画」期間における「一老一小」総合対策方案の印発に関する通知』, 2022-11-28.
- [17] 裴育, 史梦昱『地区公共养老服务资源利用率影响因素分析—以苏南地区为例』江苏社会科学, 2018, 1: 50-57.
- [18] 肖雲・呂倩・漆敏『高齢高齢者の養老施設入所意向に影響を与える要因の研究—重慶市中心 9 区を例として』西北人口, 2012, 33 (2) : 27-30.
- [19] 周秀慧・焦亞波・李漢『南京市高齢者の養老サービス需要研究』価値工程, 2012, 3.
- [20] 焦亞波『上海市高齢者の養老意向および影響要因』中国老年学雑誌, 2010, 10.
- [21] 高曉路・顔秉秋・季珏『北京市都市住民における養老モデル選択とその妥当性分析』地理科学進展, 2012, 10.
- [22] 王静・吳明『北京市某区の在宅失能高齢者における長期ケア方式の選択要因分析』中国全医科学, 2008, 12A.
- [23] 初炜・胡冬梅・宋桂荣 他『高齢者の養老ニーズとその影響要因に関する調査分析』中国衛生事業管理, 2007, 12.
- [24] 褚湜婧・孫鵬娟『都市高齢者の養老意向に影響を及ぼす諸要因の分析』南京人口管理幹部学院学報, 2010, 2.
- [25] 伍海霞・吳帆『中国における一人っ子家庭と多子家庭の高齢者の養老意向に関する比較分析』人口学刊, 2022, 44 (2) .
- [26] 羅自超『家庭内の世代間支援が高齢者の養老施設入所意向に与える影響に関する研究』労働保障世界, 2018, 52.
- [27] 張文娟・李樹茁『子の世代間支援行動が農村高齢者の生活満足度に与える影響』人口研究, 2005, 29 (5) : 73.
- [28] 黃俊輝・李放『生活満足度と養老施設ニーズの関係に関する研究—江蘇省農村高齢者の調査』南方人口, 2013, 1.
- [29] 余杰・程楊『北京市高齢者の在宅養老満足度と施設養老意向に関する研究』地理科学進展, 2015, 34, 12: 1577-1585.
- [30] 楊伊萌『養老施設入居高齢者の生活満足度に影響を与える要因に関する調査—西安市の施設を例として』新西部: 中旬・理論, 2016, 8: 29-30.
- [31] 森本安紀・新井香奈子『サービス付き高齢者向け住宅に入居する高齢者の支援ニーズに関するスクーピングレビュー』人間看護学研究, 2023, 21: 39-45.
- [32] 李曉倩『都市高齢者の養老施設入所意向とその影響要因に関する研究』上海工程技術大学修士論文, 2021.
- [33] 中国国务院『段階的に法定退職年齢を引き上げる実施に関する決定』2024-09-13.
- [34] 河南省人民政府『「第 14 次五カ年」高齢社会發展計画』2022-8-8.

- [35] Lyubomirsky, S., K. L. Tucker. Implications of Individual Differences in Subjective Happiness for Perceiving, Interpreting, and Thinking About Life Events. *Motivation and Emotion*, 1998, 22(2): 155-186
- [36] Pavot, W., E. Diener. Review of the Satisfaction With Life Scale. *Psychological Assessment*, 1993, 5(2): 164-172
- [37] 熊波・石人炳『中国における家庭内世代間関係が世代間支援に与える影響メカニズム』人口学刊, 2016, 5.
- [38] 左冬梅・李樹茁・宋璐『中国農村高齢者の養老施設居住意向に影響を与える要因の研究』人口学刊, 2011, 1: 24-31.
- [39] 『北京市高齢者の在宅養老満足度と施設入所意向に関する研究』, 地理科学進展, 2015, 34(12): 1577-1585
- [40] 刘二鹏・张奇林『世代関係・社会経済的地位と高齢者の施設養老意向——中国老年社会追跡調査(2012)に基づく実証分析』人口与発展, 2018, 24(3): 55-64
- [41] Zong L, Chen Z. Determinants of institutional care willingness among Chinese elderly: An Andersen's model-based analysis in Jiangning District, Nanjing[J]. *Frontiers in Public Health*, 2025, 13.
- [42] 楊 曉龍, 李 彦『都市高齢者の養老意向およびその影響要因—煙台市の高齢者 1273 名を対象として—』科学・経済・社会, 2013, 31(2): 160-165.
- [43] 代 亜麗, 甫 鳳『新疆ウイグル自治区北疆地域コミュニティ高齢者の養老方式意向および影響要因に関する調査』護理研究(上旬版), 2015, 29(12): 4271-4274.
- [44] 肖 雲, 温 華鳳, 鄧 睿『高齢要介護高齢者の居住形態および影響要因に関する実証研究』南方人口, 2016, 3: 46-56.
- [45] 夏 春萍, 郭 從軍, 蔡 軼『湖北省農村中高年者の施設養老意向およびその影響要因に関する研究—計画行動理論に基づく個人意志要因の分析—』社会保障研究, 2017, 2: 47-55.
- [46] 盧 成会, 王 天宇『農村高齢者の施設養老意向およびその影響要因に関する研究—S 県調査データに基づく分析—』重慶交通大学学報(社会科学版), 2023, 23(4): 46.
- [47] 唐 懿芳, 楊 洪華, 王 秀華『高齢者の養老施設入所意向およびその影響要因に関する研究の動向』解放軍護理雜誌, 2014, 31(24): 37-39.
- [48] 胡 巧玉『孝順期待が高齢者の居住方式選好に与える影響—2018 年 CLASS データに基づく実証分析—』Operations Research and Fuzziology, 2023, 13: 3156.
- [49] 謝 俊傑, 游 京穎『都市高齢者の施設養老選択行動および意向に関する実証分析』統計与決策, 2017, 33(23): 103-106.
- [50] 陳 友華, 王 俊秀『家族支援・世代関係と高齢者の養老方式選択』人口研究, 2014, 38(5): 85-96.